

MRI 検査をお受けになる患者様へ

MRI(磁気共鳴画像診断装置)について

検査を安心して受けていただくための簡単な説明です。

検査をお受けになる前にお読みください。

1

MRI 検査とは？

- MRI とは強い磁石と電波を使って体の内部構造を鮮明に見ることができる検査です。
狭い筒状の中に入り検査をしますので、閉所恐怖症の方は事前にご相談ください。
- 検査中は、木槌で木をたたくような連続音が聞こえてきます。
うるさく感じるかもしれませんが、ある程度我慢をしていただくことになります。御了承ください。
もし途中で気分が悪くなった時、不都合な事などがありましたら検査担当者にブザーでお知らせください。
- MRI 検査には
<単純 MRI 検査> 造影剤という薬を使用しないで撮影する検査
<造影 MRI 検査> 造影剤という薬を静脈注射して撮影する検査
の 2 種類の検査法があります。



2

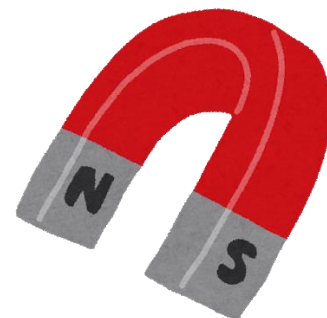
MRI 検査をお受けになる前に

MRI で使われる磁石や電波は、通常は人体への影響はありません。ただし、次のような方は MRI 検査を受けられない場合があります。事前に担当医または検査担当者にご相談ください。

- 妊婦または妊娠の可能性のある方。
 - 心臓ペースメーカー・埋め込み型除細動器 (ICD)。
 - 人工内耳・神経刺激装置などの体内電子装置。
 - 脊柱管内リード線・脊髄刺激装置。
 - 脳動脈瘤クリップ (くも膜下出血の手術など)。
 - 心臓や血管内の金属類・人工物 (リード線・コイル・ステント・人工血管・静脈 フィルター)。
 - 人工心臓弁 圧可変式バブルシャント (脳室シャント・腹腔内シャントなど)。
 - 消化管出血などの止血用クリップ・マーキングクリップ。
 - 整形外科手術で用いる人工骨頭・人工関節・髄内釘・プレート・創外固定など
 - 骨盤内の避妊リング (金属ワイヤー使用の場合)。
 - 鍼灸 (はり) 用 埋没治療針。
- ※上記医療用金属等を入れた方は、
入れた部位・手術年月・手術施設・MRI 対応製品であるかの告知が必要です。
- 体内に事故等で金属がある場合 (鉄粉・鉄片等の破片)。
 - その他金属類や人工物を身につけている場合 (補聴器・義眼・義足・コルセットなど)。

3

MRI検査前の準備



- 次の物は故障したり破損したり、検査に影響したりすることがあります。
検査前に必ず取り外しておいてください。
 - 金属類・・・時計、眼鏡、携帯電話、ライター、鍵、アクセサリー類など。
 - 磁気カード・・・キャッシュカード、定期券など。
 - その他・・・取り外しのできる義歯、補聴器、カイロ、シップ、
ベルト、エレキバン、医療用の薬剤パッチ、金属のついた下着など。
 - カラーコンタクト、アイメイク（アイシャドー・マスカラなど） 含まれている成分によっては、検査時に発熱を起こし、眼球や皮膚に やけどや重篤な障害を起こす可能性があります。検査当日はつげずに 御来院ください。
 - ・防寒用下着（ヒートテック、ボディヒーター、あったかインナー等） 防寒用下着は使用されている素材により発熱を起こすことが確認されています。やけどを引き起こす可能性がありますので必ずお脱ぎください。
- 次のものは必ず申し出をお願いします。
 - ・刺青、ファッションタトゥー、アートメイクをされている方 含まれている成分によっては、検査中に熱感を感じる場合があります。熱感がある場合は検査用ブザーでお知らせください。
- 検査前に所定の検査着に着替えてから検査室に入ります。
- 検査時間は 30 分～1 時間です。検査前にトイレを済ませておいてください。子宮・卵巣・膀胱の MRI 検査の方は尿をためておく必要があります。できれば検査開始 30 分前から排尿は行わないでください。



4

検査開始・検査中のお願い

- ベッドに仰向けに寝て、体の力を抜いてリラックスして下さい。
- 検査時間は検査部位によって異なりますが
約 30～60 分程度です。
- 検査中は痛みを伴いませんので体を動かさないでください。
- 検査中は検査担当者とマイクを通していつでも
会話できますのでご安心ください。

5

検査終了後は？

- 食事は普通におとりください。普段通りの生活を送ってください。
- 検査結果は、主治医が説明致します。
指定された日時にご来院ください。



6 造影 MRI 検査

- 水やお茶などの水分はお飲みいただいて結構です。
- 検査当日の食事については医師におたずねください。

* MRI 検査ではより詳しい検査を行うために「造影剤」を使うことがあります。造影剤は通常、静脈から注射や経口的に飲む造影剤があります。

* 造影剤を投与した後に、気分が悪くなる事や、じんましんが出たりすることがあると言われています。このような異常を感じたときには、すぐに検査担当者に検査時にお渡しするブザーでお知らせください。

〈次に該当する方は、必ず事前にお知らせください。〉

- 過去に造影剤を使用した検査を受けたことがあり、その際に気分が悪くなった。
- 喘息（ぜんそく）にかかったことのある方、またアレルギー体質の方は事前に担当医、または問診時にお申し出ください。
- 腎臓の機能が悪い、異常があるとされたことがある方は事前に担当医にお申し出ください。

〈造影 MRI 検査をお受けになる方へ。〉

- 造影剤は、検査する部位（臓器）をより詳しく調べる目的で使用する薬です。
- 副作用は極めて少ない薬ですが、検査中に万一、気分が悪くなった場合には必ずお知らせください。

〈造影 MRI 検査をお受けになった方へ。〉

- 造影剤は尿として排泄されます。排泄を促進させるため、水分（お茶、水、ジュース等）を多めにおとりください。なお、水分を制限されている方はお知らせください。
- 検査終了後、数時間から数日後に、頭痛、はきけ、かゆみ、蕁麻疹などの症状があらわれることがあります。何か症状が見られましたら病院にご連絡ください。